

循環器不整脈コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立広尾病院	
連携して研修する病院・施設(予定)	Hôpital Haut-Lévêque(Bordeaux France)、Mount Sinai Medical Center(New York USA)、University of California, San Francisco(California USA)(過去の短期派遣研修実績より)	
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年4月時点で6年以上の医歴があること。 日本内科学会認定内科医または内科専門医(新制度)を取得していること。 日本循環器学会専門医を取得(取得見込みでも可)しているか、相当する知識及び技量を有すること。 学会誌もしくはそれに準ずる学術誌に1編以上の循環器に関する論文発表(掲載予定でも可)があること。 基本的な循環器科領域の非侵襲的検査(心エコー、運動負荷検査等)と心臓カテーテル検査一般(穿刺・カテーテル挿入・冠動脈造影・各造影検査・心臓電気生理学的検査等)が実施できること。 	
コース 責任者	氏名(所属)	深水 誠二(東京都立広尾病院 循環器科)
	資格名	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本循環器学会 循環器専門医 日本不整脈心電学会 不整脈専門医
	専門分野	循環器科一般、不整脈の診断・治療、カテーテルアブレーション、植込み型除細動器(ICD)、ペースメーカー、心臓再同期療法(CRT)
臨床指導体制	<ul style="list-style-type: none"> 循環器内科を必修 指導医含め3-4名程度のグループ制となっており、一般病棟とCCUの症例を担当医として受け持つ 毎日朝夕行われるCCUカンファレンス、毎週施行される入院症例ケースカンファレンス・シネアンギオカンファレンス・不整脈カンファレンス・抄読会を通じ循環器疾患全般の専門的知識を習得 不整脈専門医の深水Dr、北條Drが非侵襲的な不整脈検査、心臓電気生理学的検査、カテーテルアブレーション、各種心臓植込みデバイス植込みを指導 心血管インターベンション治療学会専門医の土山Drが循環器として修得すべきカテーテル検査、カテーテルインターベンションを指導 臨床研究と論文作成の指導を行う。 	
臨床研究	これまで 行ってきた 研究と実績	<ul style="list-style-type: none"> 致死的不整脈の予知における電気生理学的検査の有用性(Jpn Circulation Jなどに報告) 致死的不整脈の予知における加算平均心電図の有用性(J Electrocardiologyなどに報告) ブルガダ症候群の臨床的および電気生理学的特徴(J cardiovasc pharmacology, J cardiovasc electrophysiol, Heart Rhythmなどに報告、日本循環器学会ガイドライン作成に協力) QT延長症候群の臨床的及び電気生理学的特徴(日本循環器学会ガイドライン作成に協力) 脚枝間リエントリー性心室頻拍の電気生理学的特徴とカテーテルアブレーション(Europaceなどに報告) 心房細動・心房頻拍・心室頻拍/心室期外収縮アブレーションに関する臨床研究や症例報告(J Arrhythmia他に報告) 心室性不整脈や上室性頻拍、徐脈性不整脈に関する多施設研究(Circulation, Circulation J, Heart and Vesselsなどに報告) <p>PubMed掲載論文 2023年6月時点 142編</p>
	今後行う 研究と 研究体制	<ul style="list-style-type: none"> 3次元マッピングを用いた不整脈発生基盤の検討とカテーテルアブレーションに関する研究 難治性不整脈に対する心外膜アプローチによるカテーテルアブレーションに関する研究 難治性不整脈に対するバイポーラーアブレーションに関する研究 心房細動に対するカテーテルアブレーションと予後に関する研究 上室性頻拍に対する新たなアブレーション方法に関する研究 心臓植込みデバイス(ヒス束ペーシング・左脚領域ペーシング)に関する研究 心臓植込みデバイス遠隔モニタリング一括管理システムに関する研究 高周波エネルギーに変わるニューデバイス(Pulsed field ablation)に関する研究 心不全・虚血性心疾患と不整脈との関連に関する研究 レジストリーデータを用いた多施設研究(東京医科歯科大学等との多施設共同研究など)
研修項目	<ol style="list-style-type: none"> 担当医として入院患者を担当し外来診療・救急診療に携わる。 心エコー・運動負荷検査・ホルター心電図・CT/MRI検査・核医学検査・加算平均心電図などの非侵襲的検査 心臓電気生理学的検査・カテーテルアブレーション:術者または助手として年間50件程度 心臓植込みデバイス植込み:術者または助手として年間10件程度、心臓植込みデバイスモニタリング管理 学会・研究会での発表:年間3回以上 英文を含む論文執筆:年間1編以上 ジュニアレジデント及びシニアレジデントの指導 	
研修内容・達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 心電図および心臓電気生理学的検査・冠動脈造影検査診断能力の向上 カテーテルアブレーション (a 上室性、b 心室性、c 心房細動)の技術修得 カテーテルインターベンション技術の習得、インペラを含む補助循環管理の習得 植込みデバイス治療 a ペースメーカー植込み、b ICD植込み、c CRT植込み の技術修得 日本循環器学会専門医を取得、更に日本不整脈心電学会不整脈専門医を取得できる能力を得る。 循環器関連の臨床研究を行い、国際学会発表、英文論文を作成する。 	
コース内容に関する 問合せ先	東京都立広尾病院循環器科 部長 深水 誠二 Mail: nh6s-fkm@tc4.so-net.ne.jp	